



東陽の旋風 かぜ ～自律協働貢献～

令和6年12月13日（金）No.33発行
文責：松本 卓也

助け合って行動しているところを見習いたい ～修学旅行～

12月5日（木）から7日（土）にかけて、関西方面に修学旅行に出かけました。修学旅行では、特別活動のねらいとともに、学校教育目標スローガン「自律・協働・貢献」の、特に“自律”“協働”の部分で自分で判断・行動し、仲間とともに活動してほしいと考えていました。

【重点的に育成を目指す資質・能力】

自律：自分で考え、判断し、決定し、行動すること

協働：目標に向かって共に活動していくこと

貢献：自分だけでなく、自分のいる集団のために役に立とうとすること

【目指す姿】

自ら考動する生徒

自分たちで学校を創っていく生徒集団

今年度の修学旅行も修学旅行生や外国人観光客がとて多く、2日目の京都市内班別自主学習では、二条城から帰る途中地下鉄に何度も乗ったり、バス乗り場を探し回ったりする等、想定外のことがたくさん起こりました。その都度、仲間と相談しながら臨機応変に対応した経験は、“自律・協働”に向けた大きな学びになりました。また、バス乗り場を優しく教えてくれた店員さんや、お釣りを『はい、500万円！得したね！！』と関西ギャグで渡してくれた店員さんもいて、人と人の温かさを触れ合っただけでも感じました。お世話になったツアーガイドの方からは、「皆さんには、私が助けられました。友人と助け合っているところを、私も見習いたいです。」と嬉しい言葉をいただきました。お互いが楽しめるよう、気遣い、話し合いながら行動を決定していく…。東陽中が目指す“自律”“協働”をさまざまな場面で実践してくれました。急激に変化する時代の中で、学校教育には、「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」が求められています。今回の修学旅行で、学び成長したこと、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。2年生の保護者の皆さまには、送迎のご協力やお見送り等、大変お世話になりました。



一人一人が行動する必要がある

8日（日）、「人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ」が開催されました。本校からも、15名の生徒がWEBによるライブ配信で参加しました。解放子ども会や幼稚園、各中学校の差別やいじめをなくす取組に対して、「差別のない平等な社会にするために、一人一人が行動する必要があることが各発表に共通していました。」「相手のことを知り、自分と相手の違いを認め合うことが必要だと思えます。」「相手と等しいことを考え、自分を振り返りながら考えました。お互いを尊重して、差別のない社会を実現していくために、子どもたちと共に、日常での学びや人権学習を重ねていきます。」



世界に一つだけのお弁当を作りました

今日13日（金）は「お弁当の日」です。子どもたちは、いつもよりちょっとだけ早起きして、世界に一つだけのお弁当づくりにチャレンジしました。安全な食品を選ぶこと、体の成長や健康に必要な栄養や食事のとり方を知ることは、生涯を通じて大切な健康を守るため、自分の食生活を自分で管理する力を身につけてほしいと思います。子どもたちへの励ましやアドバイスをありがとうございました。※写真は献立を考えているようすです



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）